

広沢小学校

# 希望の鐘

桐生市立広沢小学校 開校145年目

0277-52-2028

平成30年7月10日

学校通信

第5号 児童数 508名

## 家族と過ごす夏休み

7月21日(土)から8月24日(金)まで、35日間の夏休みが始まります。

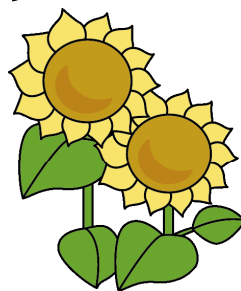
小学生の夏休みは、とても貴重(きちょう)な時間です。中学生になると部活動で時間をとられますが、小学生では自由な時間が多いです。そして、学校生活から家庭生活(なかよしクラブ)が1日の中心となります。自分で計画を立て、気持ちをしっかりとって、勉強したり遊んだりしましょう。遊ぶことも大切なことです。「早寝早起き朝ご飯」で生活のリズムが作りましょう。

また、夏休みは、長い時間家族と一緒に過ごしたり、地域の行事に参加したりして、いろいろな人とかかわりの中で、自分を成長できる時です。特に、ふだんはできないこと(旅行、料理、レクなど)を**家族でいっしょに行い共に過ごす**ことは、小学生の子どもの安定した成長には必要です。

ぜひ、楽しい思い出を作ってください。

夏休みの生活について詳しくは、学年通信や「夏休みを楽しく過ごすために」を見てください。2学期、**8月27日(月)**には、一回り大きく成長したみなさんに会えるのを楽しみにしています。一人も事故やけがのないよう安全に心がけ、楽しい夏休みしましょう！

※学校閉庁日(8/13月～17金)の緊急時の連絡は、教育委員会学校教育課(Tel.46-1111 内線688)へ連絡してください。学校教育課から各校の管理職へ伝えます。



## 外国語活動と道徳の通知表の記述について

### 【外国語活動】

広沢小では、移行期間の2年間(平成30年4月1日から2年間)を、**本格実施の授業時数と同じ**年間35時間(3,4年生)、年間70時間(5,6年生)で行っています。指導者は、3,4年生は担任とALT、5年生は教科担当制により今年度は関教諭(週1時間はALTも一緒)、6年生は中学校籍の渡辺教諭が指導しています(週2時間ALTも一緒)。

移行期間の通知表の記述については、以下のように行います。

- 第5学年と第6学年は「外国語活動の記録」の欄で、1つの学期に1観点ずつ学習の様子を文章でお伝えします。一年間で3観点になります。
- 第3学年と第4学年は、3学期に通信欄で通常の見所の中で、外国語活動の様子をお伝えします。

### 【特別の教科 道徳】

小学校学習指導要領第3章特別の教科道徳の第3指導計画の作成と内容の取扱いの4に、「児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。」とあります。

広沢小では、特別の教科道徳の通知表の記述については、以下のように行います。

- 全学年「教科」の欄で3学期にまとめて文章で一年間の学習の様子をお伝えします。道徳ノートの記述や授業中の発言等をもとに、お子さんのよいところや成長の様子を伝えます。



桐生市では、「日本文教出版」の「小学校道徳生きる力」を教科書として採用しています。この教科書には、「道徳ノート」として、毎回の授業での考えたことや友達の考えをメモできるようになっています。

## 4年生の福祉体験

広沢小では、毎年、4年生が総合的な学習の時間に、福祉体験を行っています。今年も、6月7日(木)、桐生市総合福祉センターで、車いす体験やブラインドウォーク体験、シニア体験などを行いました。福祉についての学習を通して、自分のことも周りのことも大切にする気持ちを育て、互いに助け合い協力する心を育むことを目的としています。児童の感想をいくつか紹介します。なお、7/4には認知症サポーター学習も行いました。

・わたしが一番心に残ったのが、ブラインドウォーク体験です。目の不自由な人は暗い中でずっと過ごしていることがわかりました。自分にできることは、困っている人がいたらすけてあげることです。

・シニア体験では、手袋をした手で箸を使ったり、病気のように見えないめがねでお金を探したりして、お年寄りの気持ちがわかりました。」

・これからは、障害のある人たちやお年寄りの人たちのために点字ブロックを増やすなど、色々な人が幸せになれるようになってほしいです。



## 5年生の宿泊学習

6/14,15の5年生宿泊学習。カヌー体験やキャンプファイヤー、野外炊事など、みんな楽しく協力して、野外活動センターでの1泊2日の生活を送り、一回り成長しました。



## 児童の活躍 表彰等の紹介



※個人情報のため、Web版には姓のみ公開します。

### 7/10 全校朝会で表彰

- ・桐生中央ライオンズクラブ杯低学年少年サッカー大会【2部優勝】広沢FC
- ・桐生市長杯少年少女スポーツ交流大会 ドッジボール【準優勝】広沢地区
- ・桐生市子ども会親善ドッジボール大会【準優勝】広沢地区
- ・群馬県小学生総合体育大会2部体操競技大会個人総合得点10位 5年周東
- ・ぐんまスーパーキッズ認定 4年須永
- ・桐生中央ライオンズクラブ杯低学年少年サッカー大会【1部準優勝】広沢FC
- ・ハグたんカップジュニアの部 広沢・笠懸【優勝】4年塚田,4年小宮,3年井野,3年佐藤
- ・平成23年度よい歯の子コンクール【優秀賞】6年瀧澤,6年坂本
- ・歯・口の健康啓発標語コンクール標語の部【三等賞】1年内田  
ポスターの部【三等賞】5年杵取山心悠 【佳作】4年須永

## 天災は忘れた頃に

西日本を中心とした大雨の被害は昨日の時点で、死者が120名を超え、行方不明者も多数出ています。広島県、岡山県、愛媛県で死者が多く、鉄道や高速道にも被害が出ており、工場の部品が運べなかったり、スーパーなどの店も品薄になっていたりなど産業や暮らしに影響が出ています。

今回、一度梅雨明けした梅雨前線が、冷たいオホーツク海高気圧と暖かい太平洋高気圧が拮抗し(互いの力がほぼ等しくはりあい)、前線が数日間ほぼ同じ位置に停滞し、台風7号からの湿った空気も影響し、記録的な大雨をもたらしました。7日土曜日未明には、愛媛県松山市の離島で、土砂が住宅に流れ込み、小学1年生と3年生の女の子、母親とみられる3人が亡くなるという悲しい被害も起きました。この子達が通う小学校は、全校児童6人で、なくなった2人は、よくあいさつをし、学芸会でも立派に発表して、島の宝として、住民からかわいがられていたそうです。

さて広沢地区にも山と川があります。大雨の時は、「不要の外出は控える」、「がけの近くや湧水があるところは、大雨になったら特に気をつける」など、災害に備えましょう。「**災害(天災)は忘れた頃にやってくる**」と言われます。「命を守る」ことを第一に、日頃から、「危険な場所には行かない」「危険なことはしない」など安全意識をもって行動しましょう。

さて、2015年8月から3年間本校のALTとして、英語を教えて下さったジェームス・ランキン先生が、この7月でおやめになります。楽しい英語、そして、休み時間など子供達と一緒にサッカーをして遊んでくれたジェームス先生でした。本校を去るのはたいへんですが、新しい場所での活躍をお祈りします。

Thank you for your job! I miss you. I pray for your success. (7/10全校朝会より)

通信文責:校長 伏島均